

平成23年2月9日

報道関係各位

市制施行40周年記念事業 福生市郷土資料室特別展示 「木版画の美」

福生市郷土資料室では、福生市制施行40周年を記念して木版画の展示会を開催します。展示資料の中心は、江戸時代から明治時代にかけて製作された錦絵や江戸時代に製作された草双紙といわれる和本です。これらは木版の技術によるもので、その技術は、近世から近代にかけて流行した日本の伝統的な印刷技法です。特に鮮やかな色で多色摺りされた資料の美しさには目を奪われます。木版画の美しさをぜひお楽しみください。

- 【期 間】 2月12日(土)から4月17日(日)
- 【時 間】 午前10時から午後5時
- 【展示資料】 江戸時代から明治時代にかけての木版画 約50点
- 【休 館 日】 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館)、3月31日(木)

特別展示記念講演会のお知らせ

錦絵誕生以前の初期作品から明治までの時代を追いながら、浮世絵の歴史を探求していきます。

- 【演 題】 「浮世絵の歴史」
- 【講 師】 安田吉人氏(中央学院大学非常勤講師)
- 【日 時】 3月12日(土)午後2時から3時30分
- 【場 所】 市立中央図書館2階 研修室
- 【募 集】 先着50名
- 【申込み】 受付中

- 【問合せ】 福生市教育委員会事務局生涯学習推進課 文化財係
福生市郷土資料室 042-530-1120

「大江戸芝居年中行事」 願寄せの式



「大江戸芝居年中行事」 乗り込み



福生市制40周年記念特別展示

木版画の美

平成23年2月12日(土)～4月17日(日)

「大江戸芝居年中行事」 披露目の口上



講演会

「浮世絵の歴史」 3月12日(土) 2時～3時30分

講師 安田吉人氏(中央学院大学非常勤講師)

場所 福生市郷土資料室2階 定員 50名

○お申込みは、2月12日(土)9時より電話にて受付

香朝楼国貞「仮名手本忠臣蔵 大序」



福生市郷土資料室

<http://www.museum.fussa.tokyo.jp>

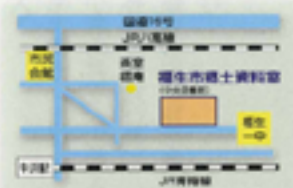
TEL 042-530-1120

〒197-0003

福生市熊川850-1

開館時間 10:00～17:00

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日が日休館)、3月31日(木)



福生市郷土資料室 福生市制40周年記念特別展示

木版画は、木の板を彫って版木（板木）をつくり、版木にインクを付けて、そこに紙をのせてはばんで摺りまします。どんな構図の絵にするのか、どのくらい深く版木を彫るのか、どの色のインクをどのくらいの量をのせて摺るのか、その微妙なさじ加減で木版画の仕上がりが違ってきます。すべてが手作業なので、木版画にはあたたかなぬくもりと、すっきりと冴えた職人技が感じられます。江戸時代は、絵師（画工）・彫師（彫工）・摺師らの分業で、画面には責任を持って仕事をした証しとして、職人の名前が摺り込まれています。職人の長年の勤と経験、意気と張りにより、一枚の木版画が制作されました。今回の展示では、江戸から昭和までの草双紙・錦絵・千社札などの木版画を展示します。内容は、江戸時代の芝居小屋の風景、当時人気があった歌舞伎役者、賑やかなお祭り、江戸のあちこちに立った活気あふれる市のようにを描いた木版画です。この機会に木版画の美しさを、お楽しみください。



千社札 納札絵「江戸の市合せ」



草双紙「歌舞舞日記」



国延「江戸錦」山王祭



国延「千代田之御表」武術上質



国周「八百屋あ七七」

主な展示資料

〈草双紙〉

『歌舞舞日記』黒川亭雪隠・笠亭仙果（作） 田輝・田光（画）
徳国（外題画） 嘉永三年 錦野堂（梓）

〈錦絵〉

安達時光・鳥居清貞「大江戸芝居年中行事」明治三〇年
長谷川寿美（編写印刷兼発行者）

梅堂国政「仮名手本忠臣蔵」明治一七年 竹内栄文（画） 石島八重（版元）
梅堂国政「積恋雪関籠」明治二〇年 森本順三郎（画工兼発行人）
梅堂国政「紅葉狩」明治二〇年 林吉蔵（画工兼発行人）

豊原国周「歌舞伎十八番内 勸進帳」明治二〇年 三宅半四郎（出版人）
豊原国周「八百屋あ七七」明治期 荒川八十八（画） 小宮山昇平（出版人）

楊洲周延「千代田大奥」明治二八年 福田初次郎（編写印刷兼発行者）
楊洲周延「千代田之御表」明治三〇年 福田初次郎（編写印刷兼発行者）

楊洲周延「江戸錦」明治三五年 松木平吉（印刷兼発行）

〈千社札〉

納札絵「江戸の市合せ」昭和二八年